

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		東大和市社会福祉協議会運営・補助事業費 [ ふれあいのまちづくり事業費補助金交付事務 ]									
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費	事業番号	15
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	福祉推進 課 庶務 係					課長名	山田 茂人				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 6		
【施策名】 地域福祉の推進								総合計画書 (ページ)	65		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	ひとり暮らしの高齢者等					→ 市内の高齢者数(65歳以上) 令和4年3月31日現在 年齢別人口統計表23,389人(R3までは3月1日現在人数)					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
地域において見守りや声かけをすることにより、ひとり暮らしの高齢者等の孤立化を防ぐ。					→ 見守り声かけ活動利用者数 (社協事業報告書：登録者数292) 令和4年3月31日現在						
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
東大和市社会福祉協議会が運営するふれあいのまちづくり事業の運営に係る費用の一部を補助する。 ふれあいのまちづくりの事業内容 ・見守り、声かけ活動 ・こども食堂立ち上げ(南街・芝中) ・ふれあいなごやかサロン					→ 市の補助金額						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標		
	対象指標	①の数值	人	23,060	23,275	23,389					
	成果指標	②の数值	人	374	458	292					
	目標	②の目標値	%	100	100	100					
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 見守り声かけ活動の活動利用者数の割合											
活動指標		③の数值	円	6,744,358	7,019,838	6,595,852					
3 経費	事業費(実績)		円	6,744,358	7,019,838	6,595,852		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	3,372,358	3,590,116	3,297,852					
		特定財源(国・都・他)	円	3,372,000	3,589,000	3,298,000					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	831,000	838,000	825,000					
職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費		円	7,575,358	7,857,838	7,420,852						
4 環境変化等	(1) 開始年度	平成8 年度									
	(2) 環境の変化	平成8～12年度に住民相互のふれあいを推進する東京都のふれあいのまちづくり事業の地区指定を受け、開始された。市内を市の基本構想に基づく8地区に分け、その中で地区別・丁目別などのグループ化を図り、全地区を組織化した。平成13年度に東京都の補助金が廃止されたため、数多くあったふれあいのまちづくり事業のうち、小地域活動(見守り声かけ活動)を継続することとなった。 ・敬老金事業縮小(77歳廃止)の影響により大幅に減少している。 ・こども食堂(芝中地区)H29.9立ち上げ									

